

体験グローバル

テーマ「技」 ホーコス株式会社（菅田先生・唐木先生）の講演を行いました。

2016年5月31日7時間目に4年生を対象に、ホーコス株式会社より当校の卒業生でもある、菅田雅夫代表取締役社長と唐木俊夫専務取締役をお招きして「企業の海外展開」についてご講演いただきました。

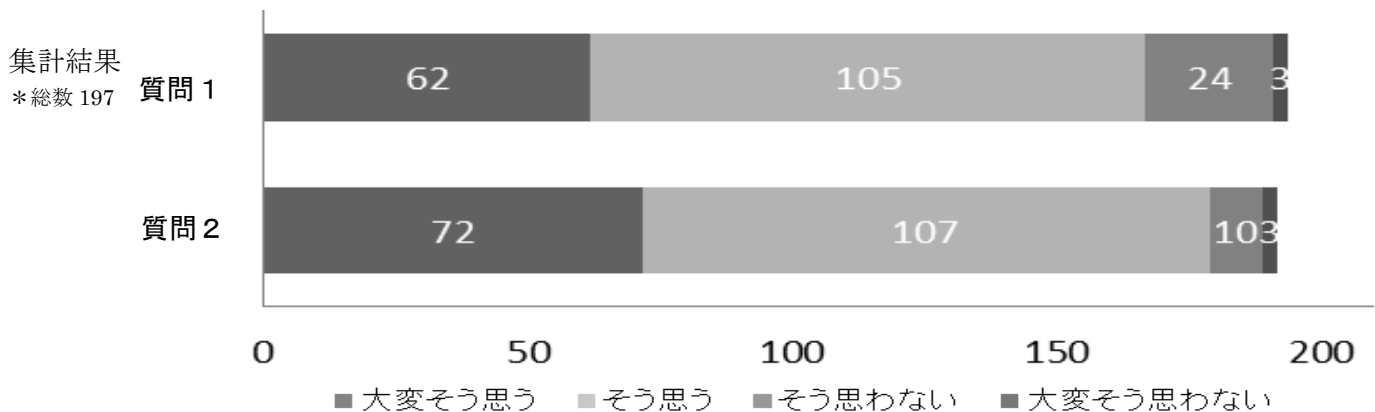
講演では、菅田社長から地元の企業でグローバルに活躍する当校卒業生の社員の話をしていただきました。唐木専務からは時代に合わせてホーコスが業種転換を進める中で、オンリーワンの技術を創り出し、海外展開できる大きな企業へ成長したことをお話していただきました。

生徒との質疑応答の時間では、海外に事業展開することは楽なことではないけれど、異文化の現場だからこそ自分の可能性を高めることができることや、グローバルに活躍するために大切なこととして「明るく・素直に・前向き」という社風にも触れながら後輩にエールを送っていただきました。



以下に講演を受けた生徒のアンケート結果をまとめました。

質問項目
 1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
 2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。



自由記述 講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

- 1つのことをやるのにもすごく手間がかかったり、失敗したり苦労したりすることが分かった。また、その一つのことが単体で成り立っているのではなく、様々な要因が絡み合って作り上げられていることが分かった。これまでは「都会に出て大企業に勤めないといけなかな…」と思っていたけれど、近いところこんな大きなチャンスがあることに驚いた。「明るく・素直に・前向きに」成功するまで自分もあきらめないようにしたい。
- 「海外進出」と聞くと「なんだか発展している…」と思ったけれど、それまでにはやっぱり多くの苦労があって、でもそれをそこで働く人たちが乗り越えてきたことがよく分かった。「こっちに来てやってみろ」と言いたくなるくらい大変なことが現場にはあることを実際の企業の方から聞くと、言葉の意味を何倍にも理解できた。今まで何度も聞いてきた「たくさんの経験をした方がいい」という言葉ともつながって、これから自分もたくさんの経験をしたいと思った。
- 難しい選択肢を選んで、海外の未開拓地を開拓して事業展開されたことに本当に「すごい」と思った。そういったことができるからナンバーワンやオンリーワンを生み出せる企業になれるんだと思った。そして、そんな企業が身近な地域にあることがうれしかった。



○文化・歴史が全く違う海外に展開されていて「すごいな」と思った。どの国に進出するかというのはメリット・デメリットをしっかりと見極めないといけないから、今の自分からしたら至難の業だと思った。「苦しんだことが必ずいい経験になる」ということを聞き、何事にもめげずに頑張ろうと思えた。特に海外での経験となるとカルチャーショックを受けた分、世界観が広がるんだろうなと思った。自分も海外への挑戦心を大切にしたい。

○私の父がホーコスに勤めています。しかし、何をしているのか全く知らなかったのが今回学ぶことができました。父はよくデトロイトやタイ、中国などに仕事に行っていました。今回のホーコスの海外展開の話聞いて「なるほど」と納得しました。日本で車に関係する会社で有名なのは「トヨタ」や「ホンダ」だけけれど、そのような大手企業を支えているのは「ホーコス」なのだと思うと、誇らしく思えます。もともとある技術を磨いて、自信を持って自慢できるオンリーワンの技術を作っていくことは素晴らしいと思います。今度から「私の父は素晴らしい会社で働いている」と、自慢できるようになりました。



○まず、とても多くの国へ進出していることに驚きました。様々な独自技術を持ち、海外へと進出しているとても未来思考な会社だと思った。また、社員を育てるために様々なサポートをしていることに驚いたし、「社員への様々な環境づくりが、成功へ導くことにつながる」ことはとても参考になった。この考えは自分の日常生活にも活かせると思いました。様々な先端技術を持ちつつもさらに向上心を持たれていることはただただ「すごい」と思った。



○海外の企業への納入が想像以上に多くて驚いた。今までいろんなSGHの授業を聞いて、「海外進出＝業績向上」という単純なイメージだけをもっていたけれど、海外進出には、それに伴ういろんな問題や障壁があったり、現地の状況や派遣する人への対応を考えたりなど、いろんな苦労があるんだと分かった。本社が家の近くであることにも驚いた。「福山は実はすごいんじゃないか」と思った。

○様々な機械によって車のエンジンが作られていて、その機械の多くがホーコス社製であることに驚いた。そんな技術を自社で開発しつづけていることにさらに驚いた。海外進出をするために、とてもたくさんの方の視点を考え、とても苦労されたことが分かった。これから、「多面的思考」、「実行力」、困難にぶつかってもやっけてのける「柔軟性」が必要だと知った。



○今の時代、ホーコスのような企業が世界進出することは必然だと思った。そして、海外進出において大切なことは、やはり進出先の文化を理解することだと思った。ホーコスは「どの技術が一番適しているか」を、何度も実験を繰り返していいものを世に送り出していることも分かった。「失敗しても明るくしていくことが、成功に必要なことであり、苦しんだことは身になる。」今の自分の生活にとって、この言葉は必ず生きてくると思った。